

一般社団法人

日本精神保健看護学会

Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing


News letter

第78号 | 平成28年
12月28日

(一社)日本精神保健看護学会事務局：〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター
TEL:03-5389-6254 FAX:03-3368-2822 E-mail:japmhn-post@bunken.co.jp HP:http://www.japmhn.jp

一般社団法人日本精神保健看護学会

第27回学術集会のご案内

学術集会会長 吉野 淳一 
(札幌医科大学)

この度、日本精神保健看護学会第27回学術集会を北海道は札幌市において2017年6月24日と25日の両日にわたり開催させていただきますことに感謝申し上げます。

第27回学術集会では、メインテーマは「語り」のあとの精神保健看護を語り合う～試される未来へ向けて～」。北海道らしく開放的で開拓者精神が漂うテーマとさせていただきました。

近年、医療や福祉、教育などの場はもちろんのこと、精神保健看護の場でも語りの力が広く認識され、見直されてきました。これらは、研究においては質的研究の広まりとなり、実践の場ではナラティブ・セラピーをはじめとするさまざまな試みを生んできました。語りの力は、ますますその影響力を増していきそうに思われますが、その先にはいったい何が待ち受けているのでしょうか。そこで第27回学術集会では、1日目に萱間真美先生に質的研究における当事者の言葉のチカラについて教育講演をお願いし、野村直樹先生に今日のナラティブやオープンダイアログが来た道を特別講演で迎っていただきます。2日目には、大会の特別企画として浦河町で精神看護を担ってきた看護師の病院から地域への移行をテーマにした語りを聞き、シンポジウムでは、当事者と看護者がリフレクティブな対話に挑戦することで、試される未来を展望したいと考えます。加えて近年、大規模災害などが世界規模で発生し、私たちはさまざまな危機に遭遇するようになりました。そのような中、看護者の健康な生活を守る活動について南裕子先生に市民公開講座でお話ししていただきます。

会場は、札幌大通公園の西端に位置する教育文化会館です。全てのプログラムをこの一会場で開催いたします。6月のさわやかな気候のもと北の大地に集い、ともに来たるべき時代の精神保健看護を語り合しましょう。

日本精神保健看護学会第27回学術集会・総会のご案内

大会テーマ：“語り”の後の精神保健看護を語り合う ～試される未来へ向けて～

大会長：吉野 淳一（札幌医科大学）

日時：2017年6月24日（土曜日）・25日（日曜日）

場所：札幌市教育文化会館（〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目）

大会HP：<http://www.knt.co.jp/ec/2017/japmhn27/index.html>

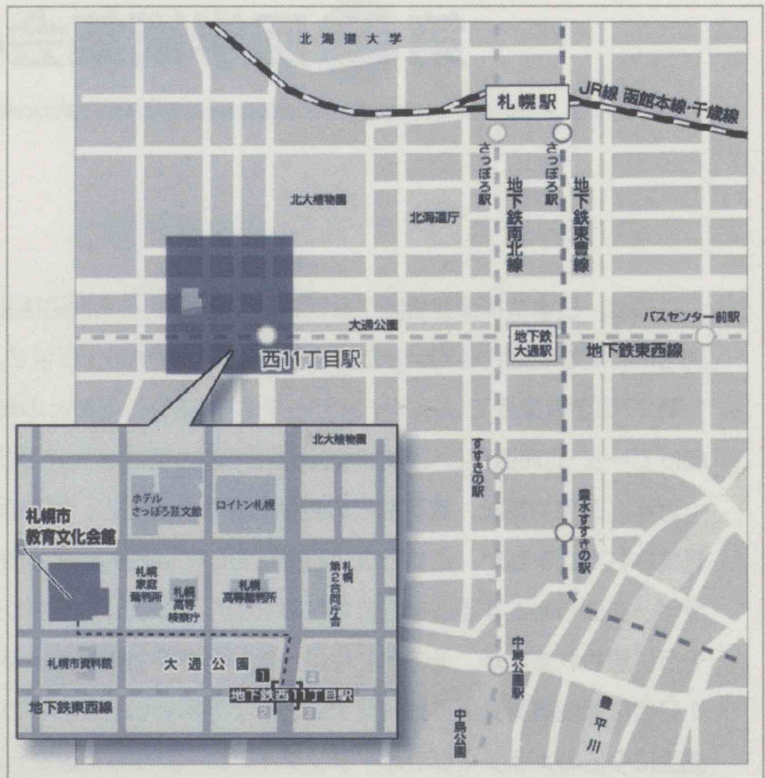
会場へのアクセス

●地下鉄でお越しの場合

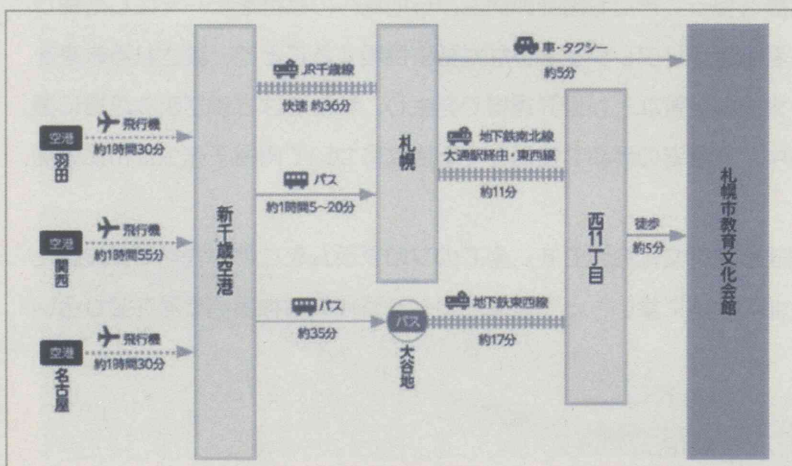
地下鉄 札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」
駅、1番出口から徒歩5分

●札幌駅からお越しの場合

地下鉄 南北線さっぽろ駅より乗車、
大通駅にて東西線に乗り換え
バス JR札幌駅バスターミナルから、
中央バス（円山経由小樽行）、
JR北海道バス（小樽行、手稲営業所、
手稲鉾山行）に乗車
「北1条西12丁目」から徒歩1分



●千歳空港からの交通機関



プログラム

●受付 第1日・第2日とも9:00開場

大会長講演

「語りの後の精神保健看護を語り合う ～私のナラティブ・ターン～」

6月24日(土) 9:30-10:20 大ホール

講師 吉野 淳一(札幌医科大学)

座長 田上 美千佳(東京医科歯科大学)

特別講演

「ナラティブとオープンダイアログが来た道 ～ベイトソンという知の系譜」

6月24日(土) 14:00-15:20 大ホール

講師 野村 直樹(名古屋市立大学)

座長 吉野 淳一(札幌医科大学)

教育講演

「精神科看護は当事者の言葉からはじまる ―ストレングスモデル・質的研究における当事者の言葉のチカラ」

6月24日(土) 10:30-11:30 大ホール

講師 萱間 真美(聖路加国際大学)

座長 永井 優子(自治医科大学)

対話シンポジウム

「語り合う当事者・看護師 ～試される未来に向けて～」

6月25日(日) 13:30-16:00 大ホール

コンダクター 看護師グループ 武井 麻子(Office-Asako)

当事者グループ 守村 洋(札幌市立大学)

座長 山本 勝則(札幌市立大学)

澤田 いずみ(札幌医科大学)

シンポジスト 調整中

指定討論 吉野 淳一(札幌医科大学)

災害支援ワーキング企画

内容調整中

6月24日(土) 11:40-12:40 小ホール

企画者 災害支援ワーキング長 宇佐美 しおり(熊本大学)

大会特別企画

「病棟がなくなる!? 地域に出た看護師が語る脱施設化体験」(仮)

6月25日(日) 9:20-10:40 小ホール

発言者 浦河ひがし町診療所看護師スタッフ(調整中)

一般演題

6月24日(土) 15:30-16:30 17:10-18:10

6月25日(日) 9:20-10:20 10:40-12:00

ワークショップ

6月24日(土) 15:30-16:50 16:50-18:10

6月25日(日) 9:20-10:40 10:40-12:00

ミニワークショップ

6月24日(土) 11:40-12:40

ランチョン・セミナー

6月24日(土) 11:40-12:40

市民公開講座(大ホール)

「災害におけるこころの健康と看護」

6月25日(日) 10:30-12:00

講師 南 裕子(高知県立大学 学長)

座長 田辺 等(北海道立精神保健福祉センター 所長)

*一般演題・ワークショップ・ミニワークショップの開催日時は変更される場合があります。

*****一般演題およびワークショップ・ミニワークショップの募集*******1. 演題募集について**

演題登録期限：2016年11月1日～2017年1月27日

一般演題は、口頭発表あるいはポスター発表となります。演題募集は、UMIN オンライン演題登録システムを利用し、オンライン登録のみ受付いたします。郵送による応募は受け付けませんのでご注意ください。必ずご本人に連絡ができる電子メールアドレスが必要になります。

■演題応募資格

発表者・共同研究者は全て演題登録時に本学会会員であることが必要です。

非会員の方が本学術集会で演題登録を希望する場合は、日本精神保健看護学会ウェブサイトの「入会のご案内」を参照いただき、演題登録にあわせて別途入会申し込み手続きを行ってください。なお、演題登録に伴う学会入会に関するお問い合わせには日本精神保健看護学会事務局(〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター 株式会社国際文献社内)にお願いします。

■査読について

学術集会では、演題応募資格を満たした一般演題について査読を行います。査読は、倫理的配慮および抄録としての適切性に焦点を当てて行います。研究において実施された倫理的配慮の具体的な内容を明記してください。大学や施設の倫理委員会の承認を得ていれば、その旨の記載をしてください。

研究報告の場合は、研究目的、方法、結果、考察など、研究抄録としての体裁を整えてください。また、実践報告の場合は、実践の目的と内容、成果、今後の課題など実践報告としての体裁を整えてください。

*演題採択結果については、3月中旬に筆頭発表者にご連絡いたします。

2. ワークショップ・ミニワークショップの企画募集について

企画登録期限：2016年11月1日～2017年1月27日

本大会では、これまでのワークショップの他、ミニワークショップを開催することといたしました。

ワークショップは、80分の時間枠で実施していただく企画です。ミニワークショップは、60分の時間枠で、昼食を取りながらの参加も可能な企画です。昼食は、参加者がご用意いただくことになります。登録される際には、ワークショップ希望、ミニワークショップ希望のいずれかを選択してください。申し込みが多数の場合には、調整させていただきますので、予めご了承ください。

採択に際しては、①新規性があり、大会テーマに関連するもの、②テーマや開催者に重複がないことを採択基準といたします。企画の採用結果については、3月初旬に企画代表者にお知らせいたします。

■企画応募資格

ワークショップ・ミニワークショップの企画代表者および企画者は、登録時に本学会会員であることが必要です。当事者、家族の方に限り、非会員の場合でも「協力者」としてワークショップの企画にご参加いただけます。

■応募要領

ワークショップ・ミニワークショップの企画は、UMIN オンライン演題登録システムを利用し、オンライン登録のみ受付いたします。E-mail、ファックス、郵送等による応募は受けつけませんのでご注意ください。必ずご本人に連絡ができる電子メールアドレスが必要になります。

*** 学術集会参加申込み ***

第27回学術集会へ参加を希望される方は、第27回学術集会ウェブサイトの「事前参加登録」ページにて「事前参加登録」ボタンより参加登録を済ませた上で、参加費のお支払いをお願いいたします。

*ウェブサイト上の登録と入金両方が確認されない場合、事前登録とみなされませんのでご注意ください。

■学会参加費

・事前参加登録

事前参加登録期限：2017年5月12日（金） 18：00まで

会員 7,000円 非会員 8,000円

・当日参加登録

会員 8,000円 非会員 9,000円

学生 3,000円（大学院生は除く）

「学生の方は、当日受付の際に身分を証明するものをご提示ください。」

■事前登録の参加費のお支払いについて

入金期限：2017年5月31日（水）

*事前参加登録後、クレジットカード（オンライン決済）、コンビニ決済、銀行振込の3種類のいずれかの方法によりお支払いください。なお、支払い時の手数料は恐れ入りますが各自で負担くださいますようお願いいたします。

*5月31日以降に入金をしていただきましても、事前参加登録としてお受けできず、当日参加費をいただきますので、ご注意ください。

*** ワorkshop・ミニワークショップへの事前登録 ***

ワークショップへの参加登録は、4月を予定しております。学術集会ウェブサイト上で行えます。ウェブサイト内の「事前参加登録」ボタンより登録を行ってください。

《問い合わせ先》

札幌医科大学 保健医療学部看護学科
〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
E-mail：jpmhn27th@gmail.com

《事前参加登録に関する問い合わせ先》

日本精神保健看護学会第27回学術集会・総会 運営準備室
株式会社近畿日本ツーリスト北海道 札幌法人旅行支店
〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目2-1 日通札幌ビル6階
TEL：011-280-8855/FAX：011-280-2732
E-mail：s-convention-1@or.knt-h.co.jp
（営業時間：月～金 9：00～17：45 土日・祝祭日は休業）

選挙管理委員会報告

選挙管理委員長 小林 信
(東京医科大学)

〈代議員選挙のお知らせ〉

日本精神保健看護学会代議員選挙を定款第5条および代議員・役員選出に関する規程に基づき、平成29年1月に実施いたします。代議員選挙の投票用紙は、各正会員が連絡先として指定した住所に平成29年1月上旬に学会事務所から直接お送りしますので、送付された用紙を使用の上、1月31日（火）までに投票してください。

法人化以降は、定款に基づき、代議員会が本学会の最高決議機関となりました。この度の第3期代議員選挙は、会員の皆様の中から議決権を持つ代表を選んでいただく選挙となります。皆さまから選ばれた代議員は、本学会を運営する大切な役割を担うこととなります。選挙人におかれましては、本会の正会員としての責任を全うし、投票率の向上に向けてご協力くださいますようお願い申し上げます。

編集委員会報告

編集委員委員長 岡田 佳詠
(筑波大学)

〈日本精神保健看護学会誌投稿規定の変更〉

以下のように、投稿規定を変更することになりましたので、投稿予定者をご確認ください。

「4. 著者資格 ④」の項目の最後に、以下の内容を追加します。

「各著者の貢献内容を、論文末尾の「利益相反」の前に記載する。各著者の氏名は、イニシャル（または姓）を用いる。例）ACは研究の着想およびデザイン、論文の作成、BD、EG、FHはデータ収集と分析、IKは研究プロセス全体への助言を行った。すべての著者が最終原稿を読み、承認した。」

教育活動委員会報告

教育活動委員委員長 野末 聖香
(慶應義塾大学)

〈教育活動委員会企画研修会報告〉

平成28年11月26日（土）13時～15時、三重大学医学部看護学科新医学棟3階第一講義室において「子どもたちに向けた精神保健看護の取り組み ～予防活動及び家族支援～」をテーマにシンポジウムを開催しました。子どもおよび子どもを取り巻く家族を対象とした精神保健看護の取り組みを紹介し、地域社会で子どもの精神的健康を守るための看護活動についてディスカッションをしました。シンポジストとお話しいただいたテーマは以下のとおりです。

1. 前川 早苗氏（三重県立こころの医療センター 精神看護専門看護師）
「精神保健に関する学校への出前授業の取り組みについて」
2. 甘佐 京子氏（滋賀県立大学人間看護学部 教授・学部長）
「同胞からみた精神疾患の捉え方と親による同胞サポート」
3. 土田 幸子氏（鈴鹿医療科学大学看護学部 准教授）
「精神障害の親を持つ子どもへの理解と支援 ～健全な成長を促すために～」

21名のご参加をいただき、活発な意見交換ができました。参加者の皆様の満足度も非常に高く、子ども

の精神保健に関する研修会を引き続き実施してほしいとのご要望もいただきました。貴重なご講演を頂きましたシンポジストの皆様、ご協力いただきました三重大大学の皆様に深く感謝申し上げます。

〈次回研修会のご案内〉

今回は「精神保健看護に活かすリラクゼーション」をテーマに、演習を交えた研修会を企画しています。リラクゼーション法の基礎および呼吸法、漸進的筋弛緩法、アロマセラピー、ハンドマッサージの技法を学び、体験します。

- ❖日 時：2017年1月21日（土） 13：00－16：00
 - ❖場 所：慶應義塾大学信濃町キャンパス孝養舎405教室
 - ❖講 師：西池給衣子・緑川 綾（慶應義塾大学看護医療学部）
 - ❖参加費：会員 無料、非会員 1,000円（資料・材料代として当日お支払いください）
 - ❖参加申し込み：メールでの事前申し込み（先着30名）
 - ❖申込期間：2016年12月1日（木）～2017年1月10日（火）まで
 - ❖研修会事務局アドレス：japmhn.edu@gmail.com
- 定員に達した時点で締め切らせていただきます。HPにて申込状況をご確認のうえ、お申込み下さい。

〈研究助成募集のお知らせ〉

平成29年度研究助成の募集を開始しました。応募期間は平成28年12月12日（月）～平成29年1月13日（金）です。詳しくは学会ホームページをご覧ください。応募資格を有する皆様の応募をお待ちしています。

学術連携委員会・災害支援ワーキング報告

学術連携委員長・災害支援ワーキング長 宇佐美 しおり
(熊本大学)

〈学術連携委員会から〉

1. 学術連携委員会は、平成30年度診療報酬、介護報酬改定に向けて、看護の在り方検討会から、2つの要望書を提出する予定です。緩和ケアチームの中で、現在精神看護専門看護師（CNS）が入って活動をしているところも多く、緩和ケアチームにおいて精神看護専門看護師が配置されることを要望すること、また、現在、在院日数が減り、身体疾患で治療を受けている患者様が抑うつや不安のために在院日数が長引き、日常生活やセルフケアが十分改善しないことから、看護外来において抑うつや不安を有する患者様への看護相談面接を行うことで、患者の抑うつや不安が改善し、患者のセルフケアや日常生活機能、QOLが早期に改善することを期待するものです。この2つの要件を平成30年度の診療報酬・介護報酬改定に提出する予定で準備をすすめています。これらに関するエビデンス、文献、などがありましたらぜひお知らせいただければと思います。

2. さらに、学術連携委員会は、日本総合病院精神医学会と連携し、精神科リエゾンチーム講習会を4年にわたって開催し、基礎編、応答編を実施してきました。これにつきましては次年度も実施予定にしております。さらに、サオコオンコロジ学会との共同で、平成29年3月18日土曜日に、東京秋葉原にてターミナル患者で認知症を有する患者への治療とケアについて研修会を開催するため、その準備をすすめております。計画が詳細にきまりましたらホームページにてお知らせしますので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

〈災害支援ワーキングから〉

4月14、16日に熊本地震を受け、災害支援ワーキングが設置されました。その後も鳥取、福島と地震は続きますが、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。災害支援ワーキングの委員は、野末聖香先生（慶應義塾大学）、大川貴子先生（福島医科大学）、宮崎志保先生（熊本大学）が委員です。まずは平成29年2月もしくは3月に、被災地の病院に向けたケアコンサルテーションを行い、被災者へのケア方法、被災者であり支援者である看護師への支援を行うことといたしました。詳細につきましてはまたホームページでお知らせしていきたいと思えます。

皆様には、各委員会でも多大なご協力を頂きますが、今後ともよろしくお願いいたします。

理事会報告

総務委員長 江波戸 和子
(杏林大学)

第5回理事会が10月29日東京医科歯科大学にて行われました。各委員会活動の事業計画において中間報告を行いながら、年度後半の活動に向けての準備を進めました。第27回学術集会についても、会員の皆様へより魅力的な発表の機会となりますよう、検討を重ねております。具体的な内容は、各委員会からの報告や学術集会の頁をご参照ください。また、理事長指名理事でありました東京医科歯科大学の美濃由紀子理事から辞任届けの提出があり、これを承認いたしました。

総務委員会としては、特定個人情報取扱規程についての契約の整備、定款変更への準備、オンライン入会の導入検討など、法人としての整備や会員の皆様へのサービス向上を進めております。学会HPにあります「マイページ」に登録している皆様のメールアドレスを活用して、学会の様々な情報を発信しておりますので、登録や変更がお済みで無い方はどうぞご活用ください。

ニュースレター原稿募集

学会では、学会員の主催する精神看護関連の活動を支援し、また、より広く交流を図れるよう、ニュースレターに掲載する原稿を広く募集しております。

皆様が主催される様々な精神看護関連の活動について、ニュースレターでの広報をご希望の際には、その活動内容、主催者（お名前とご所属）、開催場所・日時、参加方法、連絡先に関する原稿をお寄せください。

また、現在の精神保健医療や看護に関するご意見や問題提起、あるいは学会員の方々と共有したい情報などもお寄せいただければ幸いです。広報委員会で検討させていただきます。ニュースレターに掲載したいと考えています。皆様からのお原稿をお待ちしております。

*News
letter*

編集後記

▼ニュースレター78号をお届けします。松が取れるまでには皆様のところに届き、1月に行われる代議員選挙や教育研修への参加に間に合うよう準備しました。また、札幌で開催されます第27回学術集会の参加へのご準備など、皆様のご計画に役立てばと思っております。平成29年が皆様にとって良い年でありますよう祈っております。

文責：編集委員長 岩瀬信夫

広報委員会 広報委員長：岩瀬 信夫 広報委員：安保 寛明、中戸川早苗、糟谷久美子

(お問い合わせ先) メールアドレス：si11161@jrchn.ac.jp

TEL：0829-20-2863